


【件名】	日野橋仮橋上部工事（その2）	【事務所名】	南多摩西部建設事務所	
【工事場所】	東京都日野市大字日野地内から立川市錦町六丁目地内まで	【受注者名】	株式会社横河ブリッジ	
【工期】	令和3年11月10日から令和5年6月28日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 赤石 篤志	

【工事概要】

日野橋は供用開始から90年以上が経過しており、近年の大雨の激甚化も踏まえ、長期的な安全性を確保するため、早期に架け替える必要がある。本工事は、日野橋の架け替えに伴う仮橋設置工事のうち、上部工2径間(KP1-KP3)の施工を行った工事である。

【表彰理由】

関連工事との調整会議資料を自ら作成したうえで工程管理会議を毎週行い、緻密に工程管理を行うことで、無事故で非出水期内に現場作業を完了させた。

また、各関係機関と協議し、サイクリングロードの利用者や歩行者、一般車両への安全を優先した誘導員の配置や教育を行い、安全性と円滑性の確保に努めた。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

1非出水期の施工かつアユの遡上を妨げないために、工期に余裕をもって工事を完了させる必要があった。日々の工程管理を的確に行い、工期短縮することに苦労した。

◇ 特に工夫した点

上弦材の初めブロックの架設では、足場を先行設置出来ない構造のため、高所作業車を2台配置して差し込み時の監視と添接作業を行った。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

橋梁は、現場条件が同じものが無く、多種多様な職種が集まり一つの橋梁を作っていく達成感は、PRICELESSです。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

社会インフラとして、橋梁はなくてはならないものです。種類も豊富でトラス橋や斜張橋、アーチ橋、吊り橋、ニールセン橋など見栄えのある橋梁に携わる事ができ、地図にも載る仕事です。



上弦材架設状況